

【議事録】(概要)

会議名	第5次芦屋町総合振興計画審議会第2部会 (第3回)			会場	芦屋町役場 44会議室		
日時	22年12月3日(木)			13:30～			
件名・議題	<p>1) 部会長あいさつ</p> <p>2) 第5次総合振興計画基本計画(原案)について ※第5次総合振興計画(前期基本計画)の事務局案について説明し、意見を求めた。</p> <p>1章 住民と行政がともにつくるまち(仮)</p> <p>① 地域づくり</p> <p>(1) 住民との協働</p> <p>(2) 地域コミュニティの推進</p> <p>(3) ボランティア活動の支援</p> <p>3章 子どもが健やかに育つまち(仮)子育て支援</p> <p>② 幼児教育・学校教育</p> <p>(1) 学力の向上</p> <p>(2) 豊かな心の育成</p> <p>(3) 特別支援教育の充実</p> <p>(4) 学校施設・教育環境の充実</p> <p>5章 産業を支え、育むまち(仮)</p> <p>① 農業</p> <p>(1) 農業の担い手への支援</p> <p>(2) 農地の有効利用と農業基盤整備</p> <p>② 水産業</p> <p>(1) 漁業経営の安定化</p> <p>(2) 漁港基盤の整備</p> <p>③ 商工業</p> <p>(1) 商工業の振興</p> <p>④ 観光</p> <p>(1) 観光資源の整備と活用</p> <p>(2) 住民参画型慣行の推進</p> <p>7章 心豊かな人が育つまち(仮)</p> <p>① 生涯学習</p> <p>(1) 社会教育及び公民館活動の充実</p> <p>② レクリエーション・スポーツ</p> <p>(1) スポーツ活動の充実</p> <p>(2) 体育施設の整備充実</p> <p>③ 人権</p> <p>(1) 人権の尊重</p> <p>(2) 男女共同参画の推進</p> <p>④ 歴史・文化</p> <p>(1) 文化財の保護と活用</p> <p>(2) 釜の里・歴史の里の充実</p> <p>(3) 文化・芸術活動の充実</p> <p>⑤ 国際交流</p> <p>(1) 国際交流の推進</p> <p>計画の実現に向けて(仮)</p> <p>① 計画の実現に向けた現状・課題</p> <p>② 計画の実現に向けた取り組み</p>						
委員の出欠	第2部会						
	第2部会長	甲 斐 清 司	出				
	第2副部会長	横 田 幸 子	出				
		長 戸 隆 弘	出				
		豊 長 忠 志	出				
		野 添 光 弘	出				
		染 井 月 次	出				
		中 西 隆 雄	欠				
		安 高 壽	出				
		今 井 保 利	出				
	貝 掛 俊 之	出					

合意・決定事項	合意・決定事項なし
---------	-----------

第5次芦屋町総合振興計画審議会第2部会（第3回）議事録

（事務局）

第5次総合振興計画（原案）

【第1章 住民と行政がともにつくるまち（仮）】についての説明

（委員）

- ・正門区で3年間いろいろ取り組んだが、何をしても加入率は上がらなかった。昔は冠婚葬祭を自治区でやっていたが、今はそれがないので自治区に入る意味がない。入るといろいろな寄付など、義務ばかりが出てくる。はじめから区費を税金に含めて徴収するなど、全員加入の自治区の見直しや自治区の再編などについて、現状・課題で触れてはどうかと思う。

（委員）

- ・自治区に入ると募金や行事への参加などがあるので、加入しない人のメリットの方が大きい。広報の配布も必ずしも全戸配布でなくてもいいと思う。宮崎市のコミュニティ税のように、加入しない人への負担を行政主導で考えていただきたい。加入促進だけをうたってもだめかと思う。

（事務局）

- ・活性化会議がベースとなるが、まだ会自体が熟していないかと思うので、コミュニティ税まで書くのは、今後もっと体制が整ってからかと思う。自治区の再編は区単位の問題であり、再編となれば区と行政が一体となって取り組むことも考えられる。これについては自治区活性化の延長線上にある具体的な計画として実施されることかと思う。

（委員）

- ・活性化会議になって若い職員が増えたので、行政の自治区活性化に対する意気込みがわたしたちとは違うように感じた。

（事務局）

第5次総合振興計画（原案）

【第3章 子どもが健やかに育つまち（仮） 幼児教育・学校教育】についての説明

（委員）

- ・主要施策「豊かな心の育成」の主要事業に「中学校部活動指導員」とあるが、芦屋町の子どもは県内でもワースト4位というほど体力がないので、それに対して積極的に取り組むような方策はないか。

(事務局)

- ・私も外部指導員をやったことがあるが、部活の範囲内での専門的な指導しかできない。校長の方針と違えばできない面もでてくる。

(委員)

- ・県の計画でも外部指導員の充実とうたっている。

(事務局)

- ・子どもの体力向上には、さわやかプロジェクトの中で取り組んでいる。

(委員)

- ・子どもの体力づくりに積極的に取り組んでいけないかと思う。

(委員)

- ・イブニングスタディの講師はどうしているのか。また、生徒は全員参加なのか。

(事務局)

- ・学校の先生でなく、別途講師を採用している。参加は3年生の希望者となっている。

(委員)

- ・芦屋町で塾に通っている子は遠賀郡の中でも少なかったのに、イブニングスタディの利用は多い。教材費のみ生徒負担で、講師への費用は公費で対応している。

(委員)

- ・給食センターは建て替えしないとどうしようもない。改修費もかかっているのに、安全面からも建て替えをすると記載してほしい。

(事務局)

- ・建て替えをする方向だが断言できない。防衛庁の交付金で釜などは購入しており、これらは建て替え後も持っていくことになる。来年、ボイラーをつけるので改修は入れさせていただきたい。

(事務局)

第5次総合振興計画(原案)

【第5章 産業を支え、育むまち(仮)】についての説明

(委員)

- ・この通りにやってくれたらいいかと思うが、計画的にできるかというところはある。

(事務局)

- ・産業は行政主体でできないところが多く、支援というかたちになる。

(委員)

- ・前回の計画に書いてあっても進んでないところはある。農道整備をしてほしい。

(委員)

- ・海の駅は漁協の出資が 100%なのか。

(事務局)

- ・漁協所有のものになるので、改修時は県や町から補助金は出たが、運営については町は出資していない。

(委員)

- ・洞山の観光整備をぜひ進めてほしい。洞山の観光釣り場はどうなっているのか。

(事務局)

- ・具体的なことは決まっていない。漁業ゾーンとレクリエーションゾーンに区別化しようという話の段階である。

(委員)

- ・観光ともっと連携した方がいいかと思う。観光立町としてやるなら、行政ももっと踏み込んでいいのではないか。

(委員)

- ・地域振興券は行政と商工会が半分ずつ負担しているが、商工会は毎年 200 万の負担では会の経営自体が成り立たない。また、平成 16 年に策定した観光まちづくりビジョンでは、道の駅や物産館の構想があったが、その委員会を立ち上げたがだめになり、それ以降何もできなくなった。町のビジョンなので実行性はあると思うので、観光まちづくりビジョンの項目を計画に入れてほしい。

(事務局)

- ・地域振興券については、現在は商工会主体なので、今の取組の方向でしか書けない。物産館については、動きがはっきりしていないので具体的には書きづらい。

(委員)

- ・商工と観光を一緒に考えてはどうか。

(委員)

- ・「観光まちづくりビジョンの推進に努める」くらいにごしてもいいので、何らかのかたちで書いてほしい。

(委員)

- ・現状・課題に、「空き店舗対策や企業誘致」とあるのに施策にその記載がないのはおかしい。

(事務局)

- ・今は具体事業がないが、何らかの記載を検討したい。

(委員)

- ・思うことはすべて入れてもらっているかと思う。一番気になるのは観光客が夏季に集中しているということである。

(委員)

- ・芦屋釜の里は、観光バスが来るほど集客があるので、主要事業にぜひ入れてほしい。

(事務局)

- ・歴史・文化のところで記載している。

(委員)

- ・現状・課題に砂像のことが書いているが、施策には入れることはできないか。

(委員)

- ・花火はどこもやっているが、砂像は他にない。

(事務局)

第5次総合振興計画(原案)

【第7章 心豊かな人が育つまち(仮)】についての説明

(委員)

- ・社会教育施設という言葉に違和感を感じる。

(事務局)

- ・社会体育施設に対する社会教育施設という意味合いでわけている。

(委員)

- ・町民体育祭は逆行してないか。

(委員)

- ・区の再編にもかかわるが、現在は参加できない状況の区が多い。

(委員)

- ・今年は参加のお願いをして回った。今後もこれをやるのかというのものもあるし、指標に掲げるのもおかしい気がする。

(事務局)

- ・検討する。

(委員)

- ・レクリエーション・スポーツという表現は、聞き慣れない。県の振興計画には生涯スポーツとある。

(事務局)

- ・生涯学習の中に含んでもいいかと思っている。

(委員)

- ・基本方向にある、ボランティアの育成についてはぜひ取り組んでほしい。

(委員)

- ・ホームステイはオーストラリアじゃないとだめなのか。

(事務局)

- ・いろいろと方法を検討しているが、オーストラリアが安全であることなどからホームステイ先となっている。

(委員)

- ・町からの派遣のみで、オーストラリアからは来ないのか。

(事務局)

- ・姉妹校を結んでいるので、中学生は来ないが、高校生は来年来ることになっている。

(事務局)

第5次総合振興計画(原案)

【計画の実現に向けて(仮)】についての説明

(委員)

- ・職員の新たな人事評価は具体的にはどのようなものか。

(事務局)

- ・個人の目標を立ててもらい、プロセス評価・結果評価を上司にしてもらう。

(委員)

- ・昇給など金銭的なものを関連させないと難しいかと思うが。

(事務局)

- ・賃金の差も念頭にあるが、具体的にする段階で検討していく。